

令和 8 年度都区財政調整区側提案事項について

令和 8 年度都区財政調整に関する区側提案事項が、11 月 14 日（金）の特別区長会総会で決定されました。この提案事項は、都側から出された提案事項とともに、12 月 2 日（火）に開催された都区財政調整協議会に示され、同協議会幹事会に具体的検討を行うよう下命されました。

1. 検討の経過

特別区長会は、本年 6 月に来年度の都区財政調整に向けた基本方針を示しました。

内容は、現行算定の妥当性を検証し、特別区の実態に見合った算定に改めるとともに、基礎的・普遍的事業の的確な算定を担保しつつ、算定の標準化や一定の行政分野における経費の包括算定化など、各区の自主性が担保される算定方法への改善に向けた提案を主体的に取りまとめるというものです。

提案は、この基本方針に従い、各区の決算実績と算定額の比較分析を踏まえ、各ブロックから出された経費算定の充実、算定方法の改善等の案を基に財政課長会で調整し、企画・財政担当部長会、副区長会を経て、特別区長会で了承されたものです。

今回の取りまとめでは、標準区経費の見直しとして、43 項目、個別検討項目として、2 項目を提案することとしています。

2. 区側提案事項の内容

今回の提案では、①大規模な税制改正や、都区の役割分担の変更等が行われる場合には、その影響額を見極めたうえで、特別区に必要な需要額が担保されるよう配分割合の見直しを行うこと、②投資的経費の見直しに伴う経常的経費への反映など、特別区の実態を踏まえ、主体的に調整を図った区側提案を基本に、将来にわたって都と区で連携して取り組む必要がある特別区の需要を含め、当該年度のあるべき需要が適切に算定されるよう整理すること、③特別交付金、都市計画交付金について、課題の解決に向けて具体的な検討を進めることを求めています。

区側が具体的に算定内容の改善等を求めた主なものは、次のとおりです。

◎特別区の実態を踏まえた、標準区経費の見直し

- ・新規提案 15 項目（ガバメントクラウド関連経費など）
- ・充実提案 13 項目（子ども医療費助成事業費（乳幼児・義務教育就学児）など）
- ・改善提案 15 項目（投資的経費の見直しに伴う経常的経費への反映など）
- ・算定の包括化 2 項目（再掲）（都区連携経費など）

◎個別検討項目への対応

- ・特別交付金
- ・都市計画交付金

なお、都側からは、算定内容の廃止・縮減を中心に 12 項目の提案がありました。
現在、都区財政調整協議会への報告に向け、同幹事会での検討が行われています。

3. 都区財政調整区側提案取りまとめ概要（イメージ）

